

## 令和5年度第2回石狩市学校給食センター運営委員会 会議録

【開催日時】 令和5年12月15日(金) 18時30分～19時00分

【会 場】 石狩市学校給食センター会議室

【出席委員】 青山司委員長、百々瀬いづみ副委員長、佐藤学委員、中村健太委員、丸山美沙子委員、岩崎修委員、梅木亮子委員、高橋克典委員、石田しづえ委員、多田真弓委員

【傍聴者数】 なし

【事務局】 佐々木教育長、蛭谷生涯学習部長、高石学校給食センター長、西山給食担当主査、齊藤主任、宮原主任管理栄養士

【会議日程】 別紙のとおり

【会議録】

### ◎開会

---

○（青山委員長）

本日はご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、これより「令和5年度第2回石狩市学校給食センター運営委員会」を開会します。

前回の第1回運営委員会において、学校給食費の適正な水準について諮問をいただきました。本日の主な議題として、皆様から頂いた意見を踏まえ、私に一任いただきました答申案についてご協議いただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○（青山委員長）

本日、佐藤委員、中村委員、秋田谷委員、多田委員、丸山委員から所用のため欠席されるとのご連絡をいただいております。

委員数は全員で12名です。出席7名となり、本日の委員会が成立していることを報告します。

円滑な議事進行ができるよう、皆様方のお力を借りながら進めて参りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、運営委員会の進め方について注意点がございます。会議録の作成方法ですが、前回と同様、会議の発言内容をすべて記録する「全文筆記」方式で作成し、委員長の署名をもって議事録の確定といたします。そのため、発言する際には、挙手をして、委員長から指名されたあと、お名前をおっしゃってから発言をお願いします。よろしいでしょうか。

(各委員) ～「異議なし」の声～

○ (青山委員長)

それでは、そのように進めさせていただきます。

#### 1. 議事 (1) 協議事項

---

○ (青山委員長)

それでは早速、議事を進めて参ります。

日程の「1. 議事 (1) 協議事項「答申案について」」です。前回の諮問にかかり、委員の皆様から様々なご意見、また令和5年度9月現在の物価上昇指数を基にした水準が妥当ではないかのご意見をいただいたことから、皆様のお手元の資料にございますように、私の方で答申案を作成させていただきました。

この案を基に、あらためてこの場で協議させていただきたいと思っておりますので、皆様からご意見をいただきたいと思っております。資料をもとに感じられた点などをお伺いいたします。

○ (岩崎委員)

答申案を読ませていただきましたが、この内容で良いと思っております。特に、保護者の経済的負担を考えていただいております、また、近年の物価上昇が今後どのように動くかわからないことから、最低限、年に1回は運営委員会を開いて細まめに見ていくことが必要だと思っておりますので、この答申案で妥当だと考えます。

○ (梅木委員)

私もこの案で良いと考えます。今後も給食費の改定については議論が必要になって来ると思いますが、令和6年度についてはこの案が妥当と考えます。

○ (高橋委員)

私も案を拝見しましたが、適正な水準については補助が入った額になるのでしょうか。交付金の活用などがあると、この水準から変わるのでしょうか。そのあたりを教えてくださいたいと思いつながら見ていました。また、前回いただいた資料の中で、他の市町村も価格の改定について協議しているかとは思いますが、石狩管内の単価の一覧を見ると上昇傾向にあるように感じますので、保護者へ丁寧な説明があれば良いと思います。

○ (吉本委員)

答申案に記載している内容は、もっともな事と思っております。現行の給食費単価の水準では低いということですので、この程度の価格改定は致し方ないと思っております。

○（石田委員）

私もこの案で問題は無いと思います。先程、高橋委員からもありましたように、保護者への丁寧な説明をしていただくことと、見直しは必要になると思いますので、今後も年に1回協議をするということも保護者にお伝えすると良いと思います。

○（百々瀬副委員長）

私も答申案の内容に賛成です。ただ、答申案の内容だけでは保護者への説明が不十分かと感じます。材料費が高騰していることもわかっているとは思いますが、保護者の方へも、実際にどの程度高騰しているのか、数字や参考資料を添えることと、どんどん値上がりしていくという印象を与えるのではなく、毎年、物価とあわせて適正価格であるか確認しているということを伝えるのが大切であると考えます。

○（青山委員長）

全委員からご意見をいただきましたが、補助額についての質問がございました。また、参考資料などを加えて保護者へ丁寧な説明をすること、定期的な見直しが必要なので年に1回は確認しながら進めていくことが大切、との2点のご意見がございました。事務局から何かございますか。

○（高石センター長）

高橋委員からいただきました、適正な水準案の価格に補助が入っているかのご質問につきましてお答えいたします。令和4年度の給食費単価からご覧いただきたいのですが、こちらは補助額が入っていない水準となり、令和4年度、5年度の物価上昇分につきましては、国の重点支援交付金を充てて補っております。今回の答申案の水準につきましても、補助を含まずに今後適正と考えられる水準額となっております。

他の市町村の動向につきましては、この急激な物価高騰の中、やはりどの市町村でも検討はされていると聞き及んでおります。

百々瀬副委員長からございました、保護者への十分な説明というご意見につきましても、今後の国の動きが見え日程、運営委員の皆様も含め、学校や保護者には丁寧にご説明して参りたいと考えております。

○（青山委員長）

事務局から質問への回答や今後の方向性について説明がありました。皆様からご意見をいただきました結果、原案どおりで差し支えないようですが、よろしいでしょうか。

（各委員）～「異議なし」の声～

○（青山委員長）

ありがとうございます。今後の物価上昇に対する協議も含めて、保護者の皆様へしっかり伝えていくという内容で答申をさせていただきますので、よろしくお願ひします。それでは、一旦休憩をはさんで答申させていただきます。

（暫時休憩）

○（青山委員長）

それでは、答申を行います。

【答申書 別紙のとおり】

～ 答申書 読み上げ ～

以上、石狩市学校給食センター運営委員会から答申させていただきます。

○（佐々木教育長）

皆様、ありがとうございました。今の物価高騰の中で給食に期待されている役割をどのように果たしていけば良いか、非常に難しい諮問だったと思います。その中で委員の皆様から忌憚のない意見を出していただき、出席委員全員一致でまとめていただきありがとうございました。

本日のご意見の中でもございましたが、保護者等の関係者へはこの先しっかりと説明して参ります。現在、重点支援交付金が措置されているところであり、給食費にできるだけ充てるようにとの国からの通知もございますので、その点も踏まえて参ります。今月 20 日の議会最終日に予算案を提出する調整を進めておりますが、議決されましたらお知らせして参りたいと思います。

この先、物価上昇が続くようであれば、毎年給食費の単価水準を確認するべきとのご意見もいただきありがたく感じておりますが、できれば上昇傾向が続くことが無いようにとは祈っております。子どもたちの健全な育成に給食が果たす役割は非常に大きいと考えており、いただきました答申を踏まえて取り組んで参りたいと思います。ありがとうございました。

「2. その他」

---

○（青山委員長）

それでは日程の2. その他について、委員の皆様または事務局から何かございますか。

○（宮原主任）

前回の運営委員会で石田委員よりご意見のありました、アレルギー対応における牛乳の代替について、事務局より見解をご説明致します。

現在、石狩市の学校給食では、アレルギーに「乳」をもつ児童生徒や、乳糖不耐症もしくは乳糖不耐症様症状を呈する児童生徒については、医師の判断がある場合に牛乳を麦茶に代替する対応をしております。

前回の委員会において、石田委員より牛乳を麦茶にすることによる栄養不足のご指摘と豆乳のご提示があり、「豆乳」について検証致しました。

アレルギーの重篤度や症例数の多いもの、過去に一定の頻度で健康危害が見られたアレルギー物質 28 品目について、特定原材料もしくはそれに準ずるものとして定められておりますが、豆乳にはアレルギー28品目の特定原材料である「大豆」が入っております。なお、現在当センターが提供している麦茶は「大麦」を使用しておりますが、これは特定原材料には含まれておりません。このことから、豆乳より麦茶の方がより多くの児童生徒に提供できると考えております。また、豆乳は牛乳よりも単価が高く、代替対応をしている児童生徒の1食単価が高くなってしまい、他の児童生徒の給食費で補うことになってしまうため、費用面からみても導入が難しい状況であることから、引き続き麦茶を提供していく予定です。

○（青山委員長）

前回の委員会での意見についての見解、ありがとうございます。他にございますか。

○（高石センター長）

資料はございませんが、試食についてご説明させていただきます。石狩市では保護者の方などに給食を食べていただく試食の制度がございますが、現在の試食費単価は、小学校高学年の盛り込み量で422円、中学校の盛り込み量で471円の2種類で設定しています。これは、試食単価を設定した当時、給食費単価に光熱水費等相当額を加え算出したものです。しかしながら、光熱水費等も近年上昇傾向にあり、このまま単純に加えると相当な増額となってしまいます。

一方、試食は、保護者の皆様にお子様の食べているものを知っていただく面のほか、我々としましては、お子様の為に、栄養や食べ方など様々な食育の観点も含めて知っていただきたいとの面もあります。この点も踏まえて、増額しない方向に寄りつつも、試食費についても妥当な額について検討しているところです。

○（青山委員長）

以上を持ちまして、令和5年度第2回学校給食センター運営委員会を閉会します。皆様お疲れ様でした。

○（事務局）

ありがとうございました。

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年1月15日

石狩市学校給食センター運営委員会

委員長 青 山 司